

3

県民生活



公共図書館蔵書数

3-01

1位 横浜市

指標 2017年3月31日現在、神奈川県内には75館の公共図書館があり、県立図書館2館のほか、県内全ての市町村に市町村立図書館があります。

2017年3月31日現在、神奈川県内の公共図書館の蔵書数は1816万8789冊です。

県内市町村で公共図書館蔵書数が最も多いのは横浜市で411万2351冊です。横浜市には県内最多となる18の市立図書館があります。公共図書館蔵書数が最も少ないのは中井町で2万8510冊です。

県内公共図書館の蔵書を日本十進分類別にみると、県立図書館では社会科学、市町村立図書館では文学が最も多くなっています。

この統計は [平成29年度版県勢要覧] [神奈川の図書館2017]

用語 日本十進分類

日本の図書館では、主に日本十進分類法により分類番号を決めています。本の内容により、総記、哲学、歴史、社会科学、自然科学、技術、産業、芸術、言語、文学の10の大きなテーマに分類しています。

統計「神奈川の図書館」では、公共図書館の蔵書を日本十進分類とその他（分類が別体系の図書、特殊コレクションなどを含む）に分類しています。

個人貸出登録者数

3-02

1位 横浜市

指標 2017年3月31日現在、神奈川県内の公共図書館の個人貸出登録者数は340万6903人です。

県内市町村で個人貸出登録者数が最も多いのは横浜市で93万3337人です。

この統計は [平成29年度版県勢要覧] [神奈川の図書館2017]

個人貸出冊数

3-03

1位 横浜市

指標 2016年度の神奈川県内の公共図書館の個人貸出件数は3643万4587冊です。

県内市町村で個人貸出冊数が最も多いのは横浜市で1067万3325冊です。県全体の実績のおよそ3割を占めています。

この統計は [平成29年度版県勢要覧] [神奈川の図書館2017]

レファレンス件数

3-04

1位 横浜市

指標 2016年度の神奈川県内の公共図書館のレファレンス件数は73万1927件です。

県内市町村でレファレンス件数が最も多いのは横浜市で25万182件です。

この統計は [平成29年度版県勢要覧] [神奈川の図書館2017]

用語 レファレンス

レファレンスサービスとは、図書館員が図書館を利用される方の調べものの手助けをするサービスです。例えば、「探している資料や情報がみつからない」「こういうテーマに関する資料があるか」といった相談に応えるものです。



統計情報 県勢要覧

平成29年度版県勢要覧
[県統計センター]
公表日：2018.3 公表周期：毎年
本県の土地、人口、経済、社会、文化などの各分野にわたる統計を収録したものです。

統計情報 神奈川の図書館

「神奈川の図書館」2017
[神奈川県図書館協会]
公表日：2017.9 公表周期：毎年
神奈川県図書館協会に加盟する公共・大学・専門図書館のデータ集です。

市町村・地域名	公共図書館 蔵書数		個人貸出 登録者数		個人貸出 冊数		レファレンス 件数	
	2017年 値	3-01 順位	2017年 値	3-02 順位	2016年度 値	3-03 順位	2016年度 値	3-04 順位
神奈川県	18,168,789		3,406,903		36,434,587		731,927	
横浜市	4,112,351	1	933,337	1	10,673,325	1	250,182	1
川崎市	1,925,927	2	649,739	2	6,437,271	2	131,943	2
相模原市	1,449,482	3	192,984	4	2,778,527	4	36,850	5
横須賀市	820,246	5	269,574	3	1,519,558	5	37,544	4
平塚市	808,396	6	101,933	9	1,399,393	6	28,835	8
鎌倉市	553,596	8	83,631	11	1,238,538	7	104,515	3
藤沢市	1,229,892	4	151,673	5	3,292,927	3	31,550	7
小田原市	424,735	12	58,943	13	414,092	17	3,257	13
茅ヶ崎市	496,118	10	137,165	7	1,054,015	10	2,009	18
逗子市	230,378	17	46,800	14	522,745	14	2,323	16
三浦市	67,591	28	10,365	26	46,143	26	-	
秦野市	493,227	11	44,513	15	585,564	13	12,506	9
厚木市	762,810	7	147,515	6	1,082,536	9	34,878	6
大和市	513,289	9	73,861	12	1,086,949	8	302	24
伊勢原市	324,501	15	27,846	18	508,226	15	9,151	10
海老名市	411,606	14	123,430	8	783,314	12	135	29
座間市	411,945	13	93,157	10	937,470	11	208	25
南足柄市	225,216	19	15,393	24	151,524	21	1,602	19
綾瀬市	243,362	16	21,502	22	424,771	16	7,429	11
葉山町	156,958	22	23,704	20	146,849	22	1,433	20
寒川町	209,911	21	34,714	17	365,402	18	6,635	12
大磯町	228,716	18	22,843	21	187,842	20	2,096	17
二宮町	216,031	20	36,627	16	215,438	19	2,909	14
中井町	28,510	33	690	33	15,966	32	-	
大井町	91,192	24	6,828	28	77,239	24	873	22
大松町	74,887	26	5,452	29	38,160	28	353	23
山北町	63,190	29	8,156	27	38,921	27	172	26
開成町	41,082	32	10,384	25	29,350	30	150	27
箱根町	78,309	25	4,416	30	11,087	33	-	
真鶴町	52,779	30	3,792	31	36,601	29		
湯河原町	111,846	23	23,978	19	132,077	23	2,576	15
愛川町	70,903	27	16,272	23	75,628	25	142	28
清川村	41,957	31	1,911	32	20,330	31	1,067	21
(参考) 県立	1,197,850		23,775		106,809		18,302	

横浜地域	4,112,351	1	933,337	1	10,673,325	1	250,182	1
川崎地域	1,925,927	4	649,739	3	6,437,271	4	131,943	3
横須賀三浦地域	1,828,769	5	434,074	5	3,473,833	5	145,815	2
県央地域	3,905,354	3	670,632	2	7,189,525	3	81,011	5
湘南地域	4,006,792	2	557,314	4	7,608,807	2	95,691	4
県西地域	1,191,746	6	138,032	6	945,017	6	8,983	6

(3-01~04 平成29年度版県勢要覧)

注釈

3-01, 02

- 1) 2017年3月末日現在の値。
- 2) 「神奈川県」の値は市町村立図書館、県立図書館の総計。

3-03, 04

- 1) 2016年度の実績。
- 2) 「神奈川県」の値は市町村立図書館、県立図書館の総計。

3-04

- 1) 実態はあるがカウントしていない場合は「-」、実態がないもの(実施していない事業)の場合は空欄とする。

審議会等委員の女性比率

3-05

1位 横浜市

指標 2017年の神奈川県内市町村の審議会等委員の女性比率は30.65%です。

県内市町村で審議会等委員の女性比率が最も高いのは横浜市で40.67%（2739人のうち1114人）、最も低いのは松田町で15.29%（255人のうち39人）です。

なお、神奈川県庁では審議会等委員1325人のうち395人が女性で、その比率は29.81%です。

この統計は [地方公共団体における男女共同参画社会の形成又は女性に関する施策の推進状況（平成29年度）]

用語 審議会等

地方自治法第202条の3に基づき設置された附属機関をいいます。審議会等は、その担任する事項について調停、審査、審議又は調査等を行っています。

管理職の女性比率

3-06

1位 茅ヶ崎市

指標 2017年の神奈川県内市町村の管理職の女性比率は14.82%です。

県内市町村で管理職の女性比率が最も高いのは茅ヶ崎市で25.57%（305人のうち78人）、最も低いのは開成町で4.55%（22人のうち1人）です。

なお、神奈川県庁では管理職1109人のうち126人が女性で、その比率は11.36%です。

この統計は [地方公共団体における男女共同参画社会の形成又は女性に関する施策の推進状況（平成29年度）]

用語 管理職

教職員以外で各地方公共団体の定員となっている職員を対象に、本庁課長相当職以上の職を管理職としています。国家公務員の身分で地方公共団体に出向している職員などは含みません。

入込観光客数

3-07
3-08
3-09

1位 横浜市

指標 2017年中に神奈川県を訪れた観光客（入込観光客）の延人数（以下「入込観光客数」という）は推計2億69万3689人です。2年ぶりに過去最高記録を更新し、初めて2億人を突破しました。

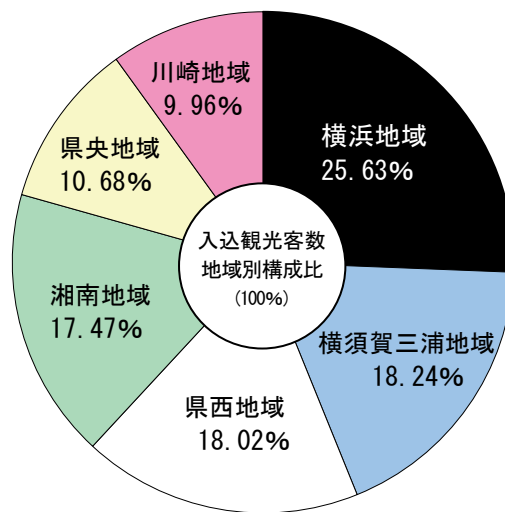
県内市町村で入込観光客数が最も多いのは横浜市で5143万555人です。「全国都市緑化よこはまフェア」に600万6000人が来訪するなど、大規模なイベントを実施したことなどをうけて、前年と比べ541万人の増加となりました。

入込観光客数が2番目に多いのは箱根町で2152万人です。大涌谷の火山活動の影響が落ち着いたこと、新たな宿泊施設などがオープンしたことなどをうけて、前年と比べ196万人の増加となりました。

県内地域別にみると、入込観光客数が最も多いのは横浜地域、次いで横須賀三浦地域となっています。

この統計は [平成29年神奈川県入込観光客調査]

神奈川県の入込観光客の地域別内訳（2017年）



この統計は [平成29年神奈川県入込観光客調査]

統計情報 地方公共団体における男女共同参画社会の形成又は女性に関する施策の推進状況

地方公共団体における男女共同参画社会の形成又は女性に関する施策の推進状況（平成29年度）[内閣府男女共同参画局]

公表日：2017.12.26 公表周期：毎年

全国の地方公共団体における男女共同参画社会の形成又は女性に関する施策の推進状況を把握し、取りまとめた結果を情報提供することによって今後の施策の展開に資するものです。

2017(平成29)年度は47都道府県、20政令指定都市及び1,741市区町村の状況を、原則として2017年4月1日現在で調査していますが、調査項目によっては各地方自治体の事情により異なる場合があります。

市町村・地域名	審議会等委員の 女性比率		管理職の 女性比率		入込観光客数		うち 宿泊客数		うち 日帰り客数	
	2017年	3-05	2017年	3-06	2017年	3-07	2017年	3-08	2017年	3-09
	値	順位	値	順位	値	順位	値	順位	値	順位
神奈川県	30.65		14.82		200,693,689		16,649,331		184,044,358	
横浜市	40.67	1	14.84	9	51,430,555	1	6,194,026	1	45,236,529	1
川崎市	33.21	4	16.34	7	19,979,383	4	1,005,054	3	18,974,329	3
相模原市	36.09	3	17.21	6	12,576,450	6	693,730	5	11,882,720	6
横須賀市	29.25	10	10.47	22	8,209,854	7	353,884	8	7,855,970	7
平塚市	25.00	23	17.46	5	7,654,762	8	84,795	16	7,569,967	8
鎌倉市	25.20	21	7.46	25	20,423,829	3	320,527	10	20,103,302	2
藤沢市	31.44	7	13.83	12	16,480,087	5	532,698	7	15,947,389	5
小田原市	31.96	6	11.26	17	6,114,772	10	265,141	11	5,849,631	9
茅ヶ崎市	28.82	13	25.57	1	3,028,192	13	74,276	17	2,953,916	11
逗子市	29.03	12	14.08	11	977,069	22	18,630	24	958,439	22
三浦市	17.91	31	7.25	26	6,311,000	9	706,900	4	5,604,100	10
秦野市	28.06	14	11.21	18	2,610,739	14	19,332	23	2,591,407	14
厚木市	27.58	16	11.92	15	3,262,470	12	349,792	9	2,912,678	12
大和市	25.72	19	11.02	21	1,181,452	21	88,765	14	1,092,687	21
伊勢原市	32.48	5	13.39	13	1,857,922	17	167,623	12	1,690,299	17
海老名市	23.81	24	14.29	10	251,993	30	-		251,993	30
座間市	29.08	11	19.18	3	427,602	28	-		427,602	28
南足柄市	30.17	9	19.51	2	896,913	24	87,850	15	809,063	24
綾瀬市	25.22	20	10.20	23	235,509	31	-		235,509	31
葉山町	36.60	2	11.76	16	687,315	26	26,007	21	661,308	26
寒川町	19.01	29	9.38	24	1,950,736	16	-		1,950,736	16
大磯町	28.00	15	6.98	28	917,491	23	89,842	13	827,649	23
二宮町	22.90	26	11.11	19	566,352	27	-		566,352	27
中井町	16.06	32	15.38	8	148,108	33	-		148,108	33
大井町	27.27	17	6.67	29	220,883	32	24,733	22	196,150	32
松田町	15.29	33	7.14	27	728,097	25	4,098	26	723,999	25
山北町	20.45	28	11.11	19	1,641,398	18	57,980	19	1,583,418	18
開成町	31.40	8	4.55	33	253,701	29	-		253,701	29
箱根町	18.14	30	6.67	29	21,520,000	2	4,693,513	2	16,826,487	4
真鶴町	22.60	27	17.65	4	1,338,809	19	26,822	20	1,311,987	19
湯河原町	23.66	25	12.12	14	3,308,510	11	680,694	6	2,627,816	13
愛川町	25.19	22	6.25	31	1,320,696	20	74,225	18	1,246,471	20
清川村	25.90	18	5.26	32	2,181,040	15	8,394	25	2,172,646	15
(参考) 県庁	29.81		11.36							

横浜地域	40.67	1	14.84	3
川崎地域	33.21	2	16.34	2
横須賀三浦地域	27.58	5	9.82	6
県央地域	30.39	3	14.47	4
湘南地域	27.83	4	16.63	1
県西地域	24.57	6	11.58	5

51,430,555	1	6,194,026	1	45,236,529	1
19,979,383	6	1,005,054	5	18,974,329	6
36,609,067	2	1,425,948	3	35,183,119	2
21,437,212	5	1,214,906	4	20,222,306	5
35,066,281	4	968,566	6	34,097,715	3
36,171,191	3	5,840,831	2	30,330,360	4

(3-05~06 地方公共団体における男女共同参画社会の形成又は女性に関する施策の推進状況(平成29年度))

(3-07~09 平成29年神奈川県入込観光客調査)

統計情報 神奈川県入込観光客調査

平成29年神奈川県入込観光客調査
 [県国際文化観光局観光企画課]
 公表日：2018.7.31 公表周期：毎年
 神奈川県内の各観光地を訪れる観光客の入込状況を把握し、県・市町村の観光施策の基礎資料とするものです。

注釈

3-05,06

- 1) 原則として2017年4月1日現在の値であるが、各地方自治体の事情により異なる場合がある。
- 2) 「神奈川県」の数値は、県庁及び広域圏で設置している審議会等を含まない。

3-07~09

- 1) 2017年中の値。
- 2) 表中「-」で示したものは、調査未実施のため推計できなかったものである。

観光客消費額計

1位 鎌倉市

3-10
3-11
3-12
3-13

指標 2017年の神奈川県観光客消費額は3715億3871万1千円です。観光客消費額の内訳は、宿泊費が1012億7491万7千円、飲食費が1514億8116万2千円、その他消費額が1187億8263万2千円です。

県内市町村で観光客消費額が最も高いのは鎌倉市で1081億1791万7千円です。内訳をみると、飲食費とその他消費額は同じく鎌倉市が1位となっていますが、宿泊費では箱根町が598億2906万5千円で1位となっています。なお、観光客消費額については、横浜市を含む10市町村で調査未実施となっています。

この統計は [平成29年神奈川県入込観光客調査]

用語 宿泊費、飲食費、その他消費額

神奈川県入込観光客調査では、観光施設利用者数調査、標準日実数調査等から、県内の観光客の入込状況を推計しています。

この調査の観光客消費額は以下のとおり算出しています。

宿泊費

観光宿泊施設利用者調査から算出しています。

宿泊費＝宿泊者数×一人当たりの平均宿泊費

飲食費

標準日実数調査の際のアンケート調査から算出しています。

飲食費＝観光客数×一人当たりの平均飲食費

その他消費額

その他消費額は、観光施設入場料と土産品代に分けて算出しています。

①観光施設入場料

有料施設の調査から算出しています。

②土産品代

標準日実数調査の際のアンケート調査から算出しています。

土産品代＝観光客数×一人当たりの平均土産品代

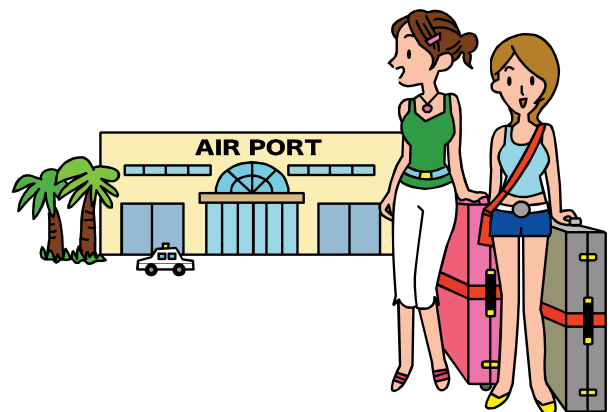
県内主要観光地点・主要観光施設・主要観光行事別
観光客数TOP30 (2017年)

(単位：千人)

	名称	市町村名	観光客数
1	鶴岡八幡宮	鎌倉市	10,774
2	湘南海岸・江の島	藤沢市	8,485
3	山崎(国道)	箱根町	6,951
4	各寺社	鎌倉市	6,118
5	第33回全国都市緑化よこはまフェア	横浜市	6,006
6	乙女峠(国道)	箱根町	4,379
7	湯本駅	箱根町	3,269
8	小田原城址公園	小田原市	3,238
9	ピカチュウ大量発生チュウ!	横浜市	3,000
10	横浜アンパンマン こどもミュージアム&モール	横浜市	2,919
11	箱根峠(国道)	箱根町	2,525
12	横浜港大さん橋国際客船ターミナル	横浜市	2,329
13	三崎	三浦市	2,278
14	宮ヶ瀬	清川村	2,181
15	川崎競馬場	川崎市	2,098
16	三笠公園	横須賀市	1,947
17	三浦海岸	三浦市	1,838
18	大観山(国道)	箱根町	1,816
19	湘南ひらつか七夕まつり	平塚市	1,670
20	茅ヶ崎海岸	茅ヶ崎市	1,667
21	横浜赤レンガ倉庫1号館	横浜市	1,599
22	鎌倉海岸	鎌倉市	1,475
23	平塚市総合公園	平塚市	1,427
24	城ヶ島	三浦市	1,404
25	相模原麻溝公園	相模原市	1,387
26	ヴェルニー公園	横須賀市	1,232
27	海の公園	横浜市	1,189
28	銭洗弁財天	鎌倉市	1,151
29	尾崎(丹沢湖)	山北町	1,031
30	スポーツ観戦	平塚市	991

※年間入込観光客数が1000人以上の主要観光地点・主要観光施設・主要観光行事について掲載しています。

この統計は [平成29年神奈川県入込観光客調査]



統計情報 神奈川県入込観光客調査

平成29年神奈川県入込観光客調査
[県国際文化観光局観光企画課]
公表日：2018.7.31 公表周期：毎年
神奈川県内の各観光地を訪れる観光客の入込状況を把握し、県・市町村の観光施策の基礎資料とするものです。

市町村・地域名	観光客消費額計		うち 宿泊費		うち 飲食費		うち その他消費額	
	2017年 値	3-10 順位	2017年 値	3-11 順位	2017年 値	3-12 順位	2017年 値	3-13 順位
神奈川県	千円 371,538,711		千円 101,274,917		千円 151,481,162		千円 118,782,632	
横浜市	-		-		-		-	
川崎市	-		-		-		-	
相模原市	13,424,796	7	2,916,822	8	8,904,847	4	1,603,127	8
横須賀市	5,570,821	9	2,801,602	9	1,868,205	10	901,014	12
平塚市	2,283,354	13	593,565	13	1,598,789	12	91,000	20
鎌倉市	108,117,917	1	5,931,086	4	56,892,345	1	45,294,486	1
藤沢市	73,882,178	3	4,712,779	5	33,402,475	2	35,766,924	2
小田原市	18,162,175	4	3,010,108	7	5,979,907	6	9,172,160	4
茅ヶ崎市	4,845,160	11	349,811	15	3,380,496	8	1,114,853	11
逗子市	844,888	19	219,055	20	402,548	16	223,285	15
三浦市	14,029,501	6	6,165,759	3	5,209,633	7	2,654,109	6
秦野市	1,019,671	17	235,145	19	397,483	17	387,043	14
厚木市	17,134,404	5	3,146,418	6	7,808,545	5	6,179,441	5
大和市	-		-		-		-	
伊勢原市	2,417,383	12	1,152,124	10	632,619	15	632,640	13
海老名市	-		-		-		-	
座間市	-		-		-		-	
南足柄市	201,544	23	201,262	21	-		282	22
綾瀬市	-		-		-		-	
葉山町	5,099,529	10	288,324	18	2,749,260	9	2,061,945	7
寒川町	-		-		-		-	
大磯町	1,852,175	14	846,316	11	850,779	14	155,080	19
二宮町	-		-		-		-	
中井町	-		-		-		-	
大井町	323,861	21	323,861	16	-		-	
松田町	1,850,531	15	20,208	23	379,052	18	1,451,271	9
山北町	650,346	20	401,360	14	59,711	20	189,275	17
開成町	-		-		-		-	
箱根町	87,049,850	2	59,829,065	1	17,924,189	3	9,296,596	3
真鶴町	1,685,156	16	321,839	17	1,160,267	13	203,050	16
湯河原町	9,985,329	8	7,147,288	2	1,655,523	11	1,182,518	10
愛川町	872,058	18	637,194	12	179,075	19	55,789	21
清川村	236,084	22	23,926	22	45,414	21	166,744	18

横浜地域	-		-		-		-	
川崎地域	-		-		-		-	
横須賀三浦地域	133,662,656	1	15,405,826	2	67,121,991	1	51,134,839	1
県央地域	31,667,342	4	6,724,360	4	16,937,881	4	8,005,101	4
湘南地域	86,299,921	3	7,889,740	3	40,262,641	2	38,147,540	2
県西地域	119,908,792	2	71,254,991	1	27,158,649	3	21,495,152	3

(3-10~13 平成29年神奈川県入込観光客調査)

注釈

3-10~3-13

- 1) 表中「-」で示したものは、調査未実施のため推計できなかったものである。
- 2) 数字の単位未満は、四捨五入してあるので、合計の数値と内訳の計が一致しない場合がある。

持ち家比率	1位 葉山町	3-14
借家比率	1位 川崎市	3-15

指標 2013年10月1日現在、神奈川県のある住宅世帯の居住世帯のある住宅数は384万3200戸であり、このうち持ち家が58.60%、借家が37.89%です。

県内市町村で持ち家比率が最も高いのは葉山町で84.83%です。一方、借家比率が最も高いのは川崎市で48.73%です。

なお、本統計では人口1万5千人以上の市町村について内訳が公表されています。人口1万5千人未満の県内6市町村については内訳が公開されていません。

この統計は [平成25年住宅・土地統計調査]

用語 持ち家、借家

持ち家とは、居住している世帯が全部又は一部を所有している住宅で、新築などで登記がまだ済んでいない場合やローンなどの支払いが完了していない場合も「持ち家」として扱います。分類は「持ち家」「借家」のほかに「住宅以外で人が居住する建物」があります。

持ち家延べ面積 (1住宅当たり)	1位 大井町	3-16
---------------------	--------	------

指標 2013年10月1日現在、神奈川県の持ち家の1住宅当たり延べ面積は98.60㎡です。

県内市町村で持ち家の1住宅当たり延べ面積が最も大きいのは大井町で128.78㎡、最も小さいのは川崎市で89.52㎡です。

この統計は [平成25年住宅・土地統計調査]

用語 住宅の延べ面積

各住宅の床面積の合計をいいます。延べ面積には、居住室の床面積のほか、その住宅に含まれる玄関、台所、トイレ、浴室、廊下、農家の土間、押し入れなどや店、事務室など営業用に使っている部分も含めます。ただし、別棟の物置・車庫の面積や商品倉庫・作業場など営業用の附属建物の面積は含めません。

アパートやマンションなど共同住宅の場合は、共同で使用している廊下、階段などの面積を除いたそれぞれの住宅の専用部分の床面積としています。

借家延べ面積 (1住宅当たり)	1位 葉山町	3-17
--------------------	--------	------

指標 2013年10月1日現在、神奈川県の借家の1住宅当たり延べ面積は42.62㎡です。

県内市町村で借家の1住宅当たり延べ面積が最も大きいのは葉山町で69.89㎡、最も小さいのは川崎市で37.75㎡です。

この統計は [平成25年住宅・土地統計調査]

一戸建比率	1位 葉山町	3-18
共同住宅比率	1位 川崎市	3-19

指標 2013年10月1日現在、神奈川県の一戸建比率は41.62%、共同住宅比率は56.08%です。県全体では共同住宅の割合の方が高くなっています。

県内市町村で一戸建比率が最も高いのは葉山町で86.74%です。一方、共同住宅比率が最も高いのは川崎市で73.58%です。

県内地域別にみると、横浜地域、川崎地域では共同住宅比率が高くなる一方、その他の全地域で一戸建比率が50%を超えていることがわかります。

この統計は [平成25年住宅・土地統計調査]

用語 一戸建、共同住宅

住宅・土地統計調査における住宅の建て方には、一戸建、長屋建、共同住宅及びその他の4分類があります。

一戸建は一つの建物が1住宅であるものをいいます。

共同住宅は、一棟の中に二つ以上の住宅があり、廊下・階段などを共用しているものや二つ以上の住宅を重ねて建てたものです。アパートやマンションのほか、1階が商店で、2階以上に二つ以上の住宅がある場合も「共同住宅」として扱います。

統計情報 住宅・土地統計調査

平成25年住宅・土地統計調査 [総務省統計局]
公表日：速報2014.7.29～順次公表
公表周期：5年ごと

我が国の住宅とそこに居住する世帯の居住状況、世帯の保有する土地等の実態を把握し、その現状と推移を明らかにする調査です。この調査の結果は、住生活基本法に基づいて作成され

る住生活基本計画、土地利用計画などの諸施策の企画、立案、評価等の基礎資料として利用されています。

本調査は住宅数、空き家数、建物の構造や建て方、建築の時期などの結果を提供しています。また、全国、都道府県だけではなく、人口1万5千人以上の市の地域の結果も提供しています。

市町村・地域名	持ち家比率		借家比率		持ち家延べ面積 (1住宅当たり)		借家延べ面積 (1住宅当たり)		一戸建比率		共同住宅比率	
	2013年 値	3-14 順位	2013年 値	3-15 順位	2013年 値	3-16 順位	2013年 値	3-17 順位	2013年 値	3-18 順位	2013年 値	3-19 順位
	%		%		m ²		m ²		%		%	
神奈川県	58.60		37.89		98.60		42.62		41.62		56.08	
横浜市	58.80	23	37.86	6	94.71	24	43.46	21	36.64	26	61.26	2
川崎市	46.81	27	48.73	1	89.52	27	37.75	27	24.96	27	73.58	1
相模原市	58.08	25	37.36	7	99.58	20	42.31	23	46.31	21	51.42	6
横須賀市	71.27	10	25.91	19	98.58	22	45.99	17	58.27	15	39.33	11
平塚市	61.42	19	34.75	11	108.17	14	45.24	19	52.52	19	43.75	10
鎌倉市	69.30	13	27.60	17	118.45	6	50.39	9	59.11	14	35.87	15
藤沢市	59.03	22	37.99	5	101.46	19	42.57	22	45.25	22	50.89	7
小田原市	60.72	20	35.22	8	118.20	7	48.88	11	61.33	12	34.77	16
茅ヶ崎市	65.25	14	31.63	14	105.37	16	47.75	12	57.70	17	39.03	12
逗子市	78.46	4	19.85	24	109.94	11	50.46	8	65.73	11	29.60	18
三浦市	78.65	3	19.43	25	109.83	12	52.79	5	72.52	7	25.45	21
秦野市	64.42	16	31.79	13	109.11	13	38.81	26	59.21	13	38.99	13
厚木市	59.49	21	38.45	4	106.05	15	40.43	25	48.23	20	49.31	8
大和市	54.31	26	40.86	2	93.58	25	44.31	20	40.60	25	57.57	3
伊勢原市	58.19	24	39.68	3	118.01	8	40.65	24	53.65	18	44.07	9
海老名市	62.83	17	34.95	9	98.14	23	46.61	14	43.82	24	54.77	4
座間市	62.62	18	34.93	10	92.17	26	46.32	15	44.66	23	53.50	5
南足柄市	74.19	6	25.16	21	128.50	2	51.30	6	78.08	5	16.28	25
綾瀬市	69.74	12	27.98	16	98.85	21	45.92	18	67.91	10	30.79	17
葉山町	84.83	1	13.34	27	120.57	4	69.89	1	86.74	1	10.17	27
寒川町	64.45	15	33.39	12	103.88	18	48.99	10	58.04	16	37.31	14
大磯町	81.56	2	16.61	26	117.74	9	63.15	2	85.63	2	12.87	26
二宮町	70.65	11	28.28	15	126.85	3	51.10	7	74.33	6	20.65	22
中井町	-		-		-		-		-		-	
大井町	76.09	5	22.66	23	128.78	1	46.69	13	78.75	3	20.00	23
山北町	-		-		-		-		-		-	
開成町	72.28	9	26.90	18	119.32	5	53.27	4	68.48	9	29.21	19
箱根町	-		-		-		-		-		-	
真鶴町	-		-		-		-		-		-	
湯河原町	73.08	8	25.55	20	115.20	10	55.99	3	70.60	8	26.10	20
愛川町	73.47	7	22.83	22	104.01	17	46.19	16	78.70	4	18.62	24
清川村	-		-		-		-		-		-	

横浜地域	58.80	5	37.86	2					36.64	5	61.26	2
川崎地域	46.81	6	48.73	1					24.96	6	73.58	1
横須賀三浦地域	72.41	1	24.89	6					61.19	2	35.58	5
県央地域	59.41	4	36.84	3					58.27	3	39.33	4
湘南地域	62.22	3	34.66	4					52.52	4	43.75	3
県西地域	65.11	2	31.86	5					65.74	1	30.41	6

(3-14~19 平成25年住宅・土地統計調査)

注釈

3-14~3-19

- 1) 2013年10月1日現在の値。
- 2) 人口1万5千人未満の市町村は内訳が公表されていないため、表中では「-」としている。

3-14

- 1) 持ち家比率=持ち家住宅数/(居住世帯のある)住宅数

3-15

- 1) 借家比率=借家住宅数/(居住世帯のある)住宅数

3-18

- 1) 一戸建比率=一戸建数/(居住世帯のある)住宅数

3-19

- 1) 共同住宅比率=共同住宅数/(居住世帯のある)住宅数

家屋総棟数

1位 横浜市

3-20

指標 2017年1月1日現在、神奈川県の家屋総棟数は238万7196棟です。内訳をみると、木造が177万3341棟で74.29%、木造以外が61万3855棟で25.71%となっています。

県内市町村で家屋総棟数が最も多いのは横浜市で84万4403棟です。

県内市町村で木造家屋の割合が最も高いのは清川村で88.90%となっています。一方、木造以外の家屋の割合が最も高いのは川崎市で33.88%です。

この統計は [平成29年度版県勢要覧] 県市町村課調

家屋総床面積

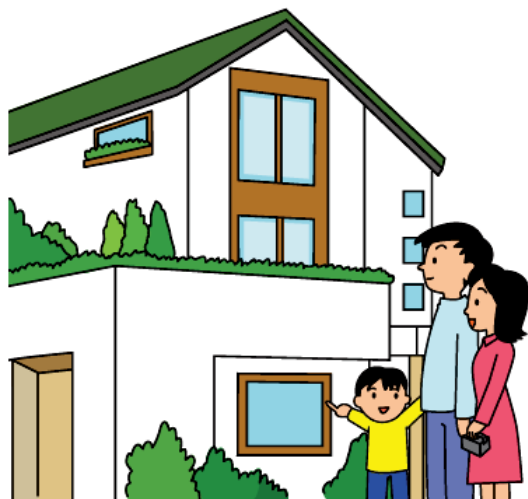
1位 横浜市

3-21

指標 2017年1月1日現在、神奈川県の家屋総床面積は4億5759万782㎡です。

県内市町村で家屋総床面積が最も大きいのは横浜市で1億7815万5392㎡です。

この統計は [平成29年度版県勢要覧] 県市町村課調



新設住宅着工戸数

1位 横浜市

3-22
3-23
3-24
3-25

指標 2017年度の神奈川県の新設住宅着工戸数は7万4756戸です。内訳をみると、持家が1万4006戸、貸家が3万1665戸、分譲住宅が2万8738戸となっています。

県内市町村で新設住宅着工戸数が最も多いのは横浜市で3万1813戸です。内訳をみると、持家が4268戸、貸家が1万3781戸、分譲住宅が1万3441戸となっています。

この統計は [平成29年度神奈川県内建築着工統計]

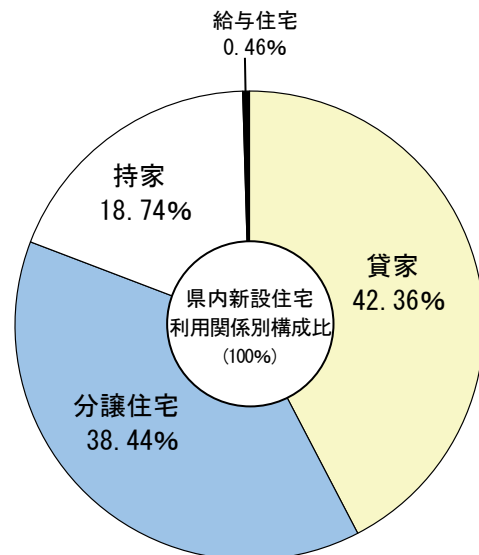
用語 新設住宅着工戸数

住宅の新築（旧敷地以外の敷地への移転を含む）、増築又は改築によって住宅の戸が新たに造られる工事を新設としています。

本統計では、新設住宅を利用関係別に持家、貸家、給与住宅、分譲住宅の4つに分類して集計しています。

- ・持家：建築主（個人）が自分で居住する目的で建築するもの
- ・貸家：建築主が賃貸する目的で建築するもの
- ・給与住宅：会社、官公署、学校等がその社員、職員、教員等を居住させる目的で建築するもの
- ・分譲住宅：建て売り又は分譲の目的で建築するもの

県新設住宅着工戸数 利用関係別内訳（2017年度）



この統計は [平成29年度神奈川県内建築着工統計]

統計情報 県勢要覧

平成29年度版県勢要覧
[県統計センター]
公表日：2018.3 公表周期：毎年
本県の土地、人口、経済、社会、文化などの各分野にわたる統計を収録したものです。

統計情報 建築着工統計調査

平成29年度建築着工統計調査
[国土交通省] 公表周期：毎月
建築基準法第15条第1項の規定により届出が義務づけられている建築物を対象とする統計調査で、毎月調査結果を公表しています。
建築着工統計調査では、建築物の着工状況について建築主別の建築物の数、床面積の合計、工事費予定額などの結果を、全国、都道府県、市区町村の地域で提供しています。

市町村・地域名	家屋総棟数		家屋総床面積		新設住宅着工戸数計		うち持家数		うち貸家数		うち分譲住宅数	
	2017年	3-20	2017年	3-21	2017年度	3-22	2017年度	3-23	2017年度	3-24	2017年度	3-25
	値	順位	値	順位	値	順位	値	順位	値	順位	値	順位
神奈川県	2,387,196		457,590,782		74,756		14,006		31,665		28,738	
横浜市	844,403	1	178,155,392	1	31,813	1	4,268	1	13,781	1	13,441	1
川崎市	278,327	2	69,448,808	2	12,327	2	1,303	3	6,240	2	4,772	2
相模原市	195,520	3	34,564,853	3	5,672	3	1,329	2	2,482	3	1,861	3
横須賀市	136,307	4	20,545,045	5	2,456	6	668	5	858	7	930	7
平塚市	80,916	6	14,037,842	7	1,901	9	605	6	770	9	526	9
鎌倉市	60,389	11	9,410,182	11	1,237	11	456	10	455	11	325	10
藤沢市	125,985	5	21,416,085	4	3,909	4	847	4	1,424	4	1,638	4
小田原市	76,139	7	11,690,423	8	1,187	12	532	8	381	13	274	12
茅ヶ崎市	68,642	10	10,630,805	9	2,279	7	565	7	1,094	5	620	8
逗子市	20,823	17	2,964,279	18	411	17	164	16	121	16	126	18
三浦市	20,722	18	2,574,244	22	149	24	67	25	44	23	37	23
秦野市	68,737	9	8,913,325	12	838	14	444	11	232	15	161	15
厚木市	69,929	8	14,814,442	6	1,538	10	460	9	836	8	234	13
大和市	57,310	12	10,368,846	10	2,897	5	396	12	1,006	6	1,495	5
伊勢原市	32,763	15	5,716,026	15	781	15	257	14	393	12	131	17
海老名市	35,024	13	7,017,585	13	1,960	8	318	13	504	10	1,138	6
座間市	33,705	14	6,450,592	14	873	13	232	15	352	14	289	11
南足柄市	19,407	19	2,947,901	19	200	19	112	20	17	29	71	20
綾瀬市	28,240	16	4,569,717	16	485	16	153	17	117	17	215	14
葉山町	13,740	23	1,853,497	23	183	22	112	20	42	24	28	26
寒川町	16,426	21	2,868,689	20	382	18	143	18	107	18	132	16
大磯町	14,126	22	1,715,625	25	174	23	116	19	24	26	34	24
二宮町	11,931	24	1,434,650	26	116	27	74	24	22	27	20	27
中井町	5,311	31	1,055,372	29	40	30	32	28	1	31	7	30
大井町	7,465	27	1,171,519	27	146	25	45	26	18	28	83	19
松田町	5,746	30	678,163	31	88	29	25	30	33	25	30	25
山北町	6,948	28	860,454	30	24	31	23	31	0	32	1	31
開成町	6,288	29	1,105,772	28	200	19	79	23	65	21	56	21
箱根町	9,705	26	2,747,011	21	141	26	26	29	106	19	9	29
真鶴町	4,674	32	524,087	32	22	32	21	32	0	32	1	31
湯河原町	11,504	25	1,835,869	24	112	28	37	27	64	22	11	28
愛川町	18,296	20	3,307,414	17	193	21	85	22	66	20	42	22
清川村	1,748	33	196,268	33	22	32	12	33	10	30	0	33

横浜地域	844,403	1	178,155,392	1	31,813	1	4,268	1	13,781	1	13,441	1
川崎地域	278,327	4	69,448,808	3	12,327	3	1,303	5	6,240	2	4,772	3
横須賀三浦地域	251,981	5	37,347,247	5	4,436	5	1,467	4	1,520	5	1,446	5
県央地域	439,772	2	81,289,717	2	13,640	2	2,985	3	5,373	3	5,274	2
湘南地域	419,526	3	66,733,047	4	10,380	4	3,051	2	4,066	4	3,262	4
県西地域	153,187	6	24,616,571	6	2,160	6	932	6	685	6	543	6

(3-20~21 平成29年度版県勢要覧)

(3-22~25 平成29年度神奈川県内建築着工統計)

統計情報 神奈川県内建築着工統計

平成29年度神奈川県内建築着工統計
 [県国土整備局建築指導課]
 公表周期：毎月
 国土交通省が行っている建築着工統計調査の神奈川県分を集計したものです。

注釈

- 3-20, 21
 - 1) 2017年1月1日現在。
 - 2) 非課税分を除く。
- 3-22~25
 - 1) 2017年4月~2018年3月の値。
- 3-22
 - 1) 持家、貸家、分譲住宅のほか、給与住宅を含む。

小売店数

(人口1000人当たり)

1位 箱根町

3-26

指標 2014年7月1日現在、神奈川県の小売店数は5万2544店で、人口1000人当たりでは5.78店となります。

県内市町村で人口1000人当たりの小売店数が最も多いのは箱根町で16.13店、最も少ないのは座間市で4.13店です。小売店数が最も多いのは横浜市(2万557店)ですが、人口1000人当たりでは5.54店で県内第27位となります。

県内地域で人口1000人当たりの小売店数が最も多いのは県西地域で8.66店です。

この統計は [平成26年経済センサス-基礎調査]

用語 小売店

ここで掲載した小売店数は、経済センサス-基礎調査によって小売業に分類された全事業所数です。

飲食店数

(人口1000人当たり)

1位 箱根町

3-27

指標 2014年7月1日現在、神奈川県のレストラン数は3万4637店で、人口1000人当たりでは3.81店となります。

県内市町村で人口1000人当たりの飲食店数が最も多いのは箱根町で17.50店、最も少ないのは山北町で1.81店です。飲食店数が最も多いのは横浜市(1万3224店)ですが、人口1000人当たりでは3.56店で県内第20位となります。

県内地域で人口1000人当たりの飲食店数が最も多いのは県西地域で5.07店です。

この統計は [平成26年経済センサス-基礎調査]

用語 飲食店

ここで掲載した飲食店数は、経済センサス-基礎調査によって飲食店に分類された全事業所数です。

理容・美容所数

(人口1000人当たり)

1位 湯河原町

3-28

指標 2014年7月1日現在、神奈川県のレストラン数は1万3409店で、人口1000人当たりでは1.47店となります。

県内市町村で人口1000人当たりの理容・美容所数が最も多いのは湯河原町で2.79店、最も少ないのは清川村で0.91店です。理容・美容所数が最も多いのは横浜市(4936店)ですが、人口1000人当たりでは1.33店で県内第30位となります。

県内地域で人口1000人当たりの理容・美容所数が最も多いのは県西地域で2.14店です。

この統計は [平成26年経済センサス-基礎調査]

用語 理容・美容所

ここで掲載した理容・美容所数は、経済センサス-基礎調査によって理容業、美容業に分類された全事業所数です。

都市公園数

1位 横浜市

3-29

3-30

3-31

指標 2016年3月31日現在、神奈川県内には7439箇所都市公園があります。都市公園面積は4914.65haで、1人当たりの都市公園面積は5.41㎡です。

県内市町村で都市公園数が最も多いのは横浜市で2658箇所です。都市公園面積が最も大きいのは同じく横浜市で1813.48haです。1人当たりの都市公園面積が最も大きいのは愛川町で23.77㎡です。

県内地域で1人当たり都市公園面積が最も大きいのは横須賀三浦地域で12.13㎡です。

この統計は [平成29年度版県勢要覧] 県都市公園課調

用語 都市公園

一般に「公園」と呼ばれているものは都市公園に代表される営造物公園と、国立公園等自然公園に代表される地域制公園とに大別されます。

都市公園とは、国営公園及び地方公共団体が設置する公園及び緑地です。

統計情報 経済センサス

平成26年経済センサス-基礎調査
公表日：速報2015.6.30～順次公表
平成28年経済センサス-活動調査
公表日：速報2017.5.31～順次公表
[総務省統計局]
公表周期：5年ごと

経済センサスは、事業所及び企業の経済活動の状態を明らかにし、我が国における包括的な産業構造を明らかにするとともに、事業所・企業を対象とする各種統計調査の実施のための母集団情報を整備することを目的としています。事業所・企業の基本的構造を明らかにする「基礎調査」と、事業所・企業の経済活動の状況を明らかにする「活動調査」の2つから成り立っています。

市町村・地域名	小売店数 (人口1000人当たり)		飲食店数 (人口1000人当たり)		理容・美容所数 (人口1000人当たり)		都市公園数		都市公園面積		都市公園面積 (1人当たり)	
	2014年	3-26	2014年	3-27	2014年	3-28	2016年	3-29	2016年	3-30	2016年	3-31
	値	順位	値	順位	値	順位	値	順位	値	順位	値	順位
神奈川県	5.78		3.81		1.47		7,439		4,914.65		5.41	
横浜市	5.54	27	3.56	20	1.33	30	2,658	1	1,813.48	1	4.92	17
川崎市	4.80	31	3.61	19	1.17	32	1,119	2	571.14	2	3.86	26
相模原市	5.16	30	3.32	24	1.65	19	608	3	331.69	4	4.62	22
横須賀市	6.56	17	4.70	9	1.98	9	522	4	522.11	3	12.89	6
平塚市	6.85	12	4.64	10	1.78	14	278	6	141.51	8	5.51	16
鎌倉市	10.46	2	6.54	3	1.69	18	249	7	149.30	7	8.63	8
藤沢市	6.58	16	4.22	15	1.62	21	305	5	204.28	5	4.81	18
小田原市	8.98	6	4.92	7	2.09	7	147	12	90.18	12	4.65	21
茅ヶ崎市	5.44	28	3.54	21	1.58	25	170	11	71.78	13	2.99	29
逗子市	7.01	10	3.40	22	1.84	12	85	15	90.43	11	15.86	5
三浦市	8.20	7	5.54	6	2.27	5	64	17	38.40	20	8.53	9
秦野市	5.59	24	3.20	26	1.73	17	195	9	105.81	9	6.34	15
厚木市	6.61	15	4.39	13	1.63	20	233	8	173.52	6	7.71	11
大和市	5.81	22	4.46	11	1.59	22	185	10	70.65	14	3.03	28
伊勢原市	5.87	21	3.98	16	1.58	24	146	13	39.19	19	3.88	25
海老名市	5.39	29	3.82	17	1.59	23	73	16	60.91	17	4.69	20
座間市	4.13	33	2.88	27	1.48	27	43	19	61.94	16	4.80	19
南足柄市	5.58	25	2.88	28	2.14	6	27	21	19.42	23	4.52	23
綾瀬市	4.26	32	2.38	31	1.44	28	126	14	54.83	18	6.53	14
葉山町	6.28	19	3.29	25	1.26	31	7	28	64.33	15	19.49	2
寒川町	5.56	26	3.66	18	1.77	15	40	20	18.27	27	3.81	27
大磯町	6.44	18	2.56	30	1.42	29	51	18	27.68	21	8.65	7
二宮町	7.32	9	2.70	29	1.84	13	17	24	23.58	22	8.13	10
中井町	6.97	11	2.15	32	1.74	16	2	31	18.62	25	18.62	3
大井町	6.83	13	4.40	12	1.85	11	4	30	0.48	32	0.28	32
松田町	7.87	8	6.01	4	2.30	4	9	27	6.46	28	7.18	12
山北町	9.49	5	1.81	33	1.90	10	7	28	4.10	29	4.10	24
開成町	6.77	14	3.33	23	2.32	3	13	25	3.17	30	1.86	31
箱根町	16.13	1	17.50	1	2.05	8	13	25	19.38	24	16.15	4
真鶴町	9.77	4	5.68	5	2.38	2	1	32	2.18	31	2.73	30
湯河原町	10.31	3	7.05	2	2.79	1	20	23	18.36	26	7.06	13
愛川町	6.18	20	4.22	14	1.56	26	22	22	97.47	10	23.77	1
清川村	5.77	23	4.86	8	0.91	33	-	-	-	-	-	-

横浜地域	5.54	4	3.56	6	1.33	5	2,658	1	1,813.48	1	4.92	4
川崎地域	4.80	6	3.61	5	1.17	6	1,119	4	571.14	5	3.86	6
横須賀三浦地域	7.63	2	5.03	2	1.88	2	927	5	864.57	2	12.13	1
県央地域	5.38	5	3.62	4	1.61	4	1,290	2	851.01	3	5.46	2
湘南地域	6.21	3	3.93	3	1.66	3	1,202	3	632.10	4	4.87	5
県西地域	8.66	1	5.07	1	2.14	1	243	6	182.35	6	5.27	3

(3-26~28 平成26年経済センサス-基礎調査)

(3-29~31 平成29年度版県勢要覧)

統計情報 県勢要覧

平成29年度版県勢要覧
 [県統計センター]
 公表日：2018.3 公表周期：毎年
 本県の土地、人口、経済、社会、
 文化などの各分野にわたる統計を収
 録したものです。

注釈

3-26~3-28

- 1) 事業所数は、民営事業所に加え、国、地方公共団体の事業所を含めた総数。
- 2) 2014年7月1日現在の値。
- 3) 算出には「神奈川県人口統計調査」(2014年7月1日現在)の人口を用いた。

3-29~31

- 1) 2016年3月31日現在の値。

登録自動車数
(人口1000人当たり)

1位 清川村

3-32

指標 2017年3月31日現在、神奈川県に登録自動車数は276万1542台、人口1000人当たりでは302.00台となります。

県内市町村で人口1000人当たりの登録自動車数が最も多いのは清川村で687.93台です。

県内地域別にみると、人口1000人当たりの登録自動車数が最も多いのは県西地域で379.36台です。

この統計は [平成29年度版県勢要覧] 関東運輸局神奈川県運輸支局登録部門調

用語 登録自動車数

登録自動車とは、道路運送車両法の規定による自動車の登録制度の対象となる自動車です。軽自動車、小型特殊自動車及び小型二輪車は含まれません。

貨物自動車数
(人口1000人当たり)

1位 清川村

3-33

指標 2017年3月31日現在、神奈川県の商品自動車数は28万3859台、人口1000人当たりでは31.04台となります。

県内市町村で人口1000人当たりの商品自動車数が最も多いのは清川村で183.20台です。

この統計は [平成29年度版県勢要覧] 関東運輸局神奈川県運輸支局登録部門調

普通乗用車数
小型乗用車数

(人口1000人 1位 箱根町
当たり) 1位 清川村

3-34

3-35

指標 2017年3月31日現在、神奈川県普通乗用車数は120万6861台、人口1000人当たりでは131.98台となります。また、小型乗用車数は118万3943台、人口1000人当たりでは129.47台となります。

県内市町村で人口1000人当たりの普通乗用車数が最も多いのは箱根町で212.94台です。一方、県内市町村で人口1000人当たりの小型乗用車数が最も多いのは清川村で256.79台です。

この統計は [平成29年度版県勢要覧] 関東運輸局神奈川県運輸支局登録部門調

用語 普通乗用車、小型乗用車

小型乗用車は全長4.7m以下、全幅1.7m以下、全高2.0m以下であり、かつエンジンの総排気量が660ccを超え2000cc以下のものをさします。4つの要件を1つでも超えると普通乗用車となります。

特種用途自動車数
(人口1000人当たり)

1位 清川村

3-36

指標 2017年3月31日現在、神奈川県の特種用途自動車数は6万1765台、人口1000人当たりでは6.75台です。

県内市町村で人口1000人当たりの特種用途自動車数が最も多いのは清川村で36.64台です。

この統計は [平成29年度版県勢要覧] 関東運輸局神奈川県運輸支局登録部門調

用語 特種用途自動車

特種用途自動車とは、消防車、護送車、医療防疫車、霊柩車、冷蔵冷凍車、タンク車、散水車、架線修理車、クレーン車など主たる目的が特殊である自動車であって、その目的遂行に必要な構造、装置を備えるものです。

小型二輪車数
(人口1000人当たり)

1位 愛川町

3-37

指標 2017年3月31日現在、神奈川県の商品二輪車数は12万3930台、人口1000人当たりでは13.55台となります。

県内市町村で人口1000人当たりの商品二輪車数が最も多いのは愛川町で25.72台です。

この統計は [平成29年度版県勢要覧] 関東運輸局神奈川県運輸支局登録部門調

用語 小型二輪車

二輪自動車のうち、全長2.5m以下、全幅1.3m以下、全高2.0m以下であり、かつエンジンの総排気量が125ccを超え250cc以下のもの軽二輪自動車といいます。小型二輪自動車は軽二輪車より大きさが大きいもの、及び250cc以上のものをさし、大型オートバイ等が含まれません。

統計情報 自動車保有車両数統計

自動車保有車両数統計[国土交通省]

公表周期：毎月

国土交通省の「自動車登録検査業務電子情報処理システム」等により、毎月末現在の自動車保有台数について集計整理しているものです。集計の単位は「台」となっており、用途別、車種別、業態別に集計整理しています。

市町村・地域名	登録自動車数 (人口1000人当たり)		貨物自動車数 (人口1000人当たり)		普通乗用車数 (人口1000人当たり)		小型乗用車数 (人口1000人当たり)		特種用途自動車数 (人口1000人当たり)		小型二輪車数 (人口1000人当たり)	
	2017年	3-32	2017年	3-33	2017年	3-34	2017年	3-35	2017年	3-36	2017年	3-37
	値	順位	値	順位	値	順位	値	順位	値	順位	値	順位
神奈川県	302.00		31.04		131.98		129.47		6.75		13.55	
横浜市	292.34	30	29.90	22	134.82	26	118.76	32	6.09	25	13.21	27
川崎市	232.76	33	25.52	25	108.75	33	89.80	33	6.36	22	10.99	33
相模原市	322.08	24	36.45	17	129.99	27	146.02	26	7.07	19	13.80	22
横須賀市	299.85	27	23.09	26	121.89	30	147.18	24	5.48	28	16.73	10
平塚市	373.31	13	46.10	10	147.70	15	167.16	16	9.55	10	16.39	12
鎌倉市	291.29	31	13.35	32	139.76	21	132.50	31	4.21	31	13.62	23
藤沢市	309.10	26	27.48	24	135.09	25	138.91	27	5.56	27	13.91	21
小田原市	360.33	16	36.23	18	141.82	19	170.85	11	8.29	15	12.62	28
茅ヶ崎市	292.85	29	20.30	29	129.06	28	137.44	28	4.69	30	14.17	20
逗子市	287.82	32	10.45	33	138.01	22	134.24	29	3.32	33	14.41	18
三浦市	330.03	23	40.45	12	121.05	31	154.81	23	10.11	9	20.94	2
秦野市	340.58	21	22.87	27	142.44	18	167.28	15	5.71	26	14.77	16
厚木市	418.57	6	57.67	7	161.40	8	180.44	9	14.58	7	17.51	8
大和市	296.17	28	31.48	20	120.52	32	133.86	30	6.45	21	11.66	32
伊勢原市	378.22	12	40.36	13	156.52	10	169.36	13	8.39	14	16.42	11
海老名市	344.29	19	39.82	14	135.71	23	157.76	22	8.81	13	11.73	31
座間市	316.08	25	31.09	21	128.81	29	146.59	25	7.81	16	13.51	24
南足柄市	382.26	11	37.62	15	153.58	11	180.51	8	7.79	17	14.40	19
綾瀬市	383.84	9	61.63	5	140.92	20	166.52	18	9.29	12	14.58	17
葉山町	363.94	14	20.20	30	177.92	5	158.32	21	6.32	24	20.23	3
寒川町	383.31	10	49.99	9	148.20	14	166.65	17	14.12	8	17.28	9
大磯町	360.98	15	20.65	28	164.17	7	170.47	12	4.14	32	16.32	14
二宮町	342.76	20	14.60	31	145.46	16	176.47	10	4.70	29	16.06	15
中井町	509.81	4	99.48	3	164.61	6	217.12	3	23.28	2	19.94	4
大井町	415.90	7	51.33	8	161.33	9	192.77	6	7.76	18	16.34	13
松田町	412.44	8	45.48	11	152.28	12	187.85	7	16.83	6	19.19	7
山北町	496.02	5	65.85	4	182.30	4	215.42	4	18.26	5	19.81	5
開成町	347.58	18	28.51	23	148.71	13	161.15	19	6.85	20	12.61	29
箱根町	534.08	2	59.42	6	212.94	1	229.63	2	18.68	4	13.23	25
真鶴町	359.68	17	37.14	16	144.32	17	168.10	14	6.33	23	13.22	26
湯河原町	339.35	22	32.51	19	135.37	24	158.39	20	9.49	11	12.43	30
愛川町	525.94	3	103.57	2	183.32	3	214.06	5	20.82	3	25.72	1
清川村	687.93	1	183.20	1	202.15	2	256.79	1	36.64	1	19.27	6

横浜地域	292.34	5	29.90	4	134.82	4	118.76	5	6.09	5	13.21	5
川崎地域	232.76	6	25.52	5	108.75	6	89.80	6	6.36	4	10.99	6
横須賀三浦地域	301.57	4	20.64	6	130.04	5	143.53	4	5.32	6	16.21	1
県央地域	342.68	2	41.95	1	135.56	3	153.23	2	8.79	2	14.18	3
湘南地域	332.99	3	30.66	3	140.51	2	152.85	3	6.70	3	14.99	2
県西地域	379.36	1	40.23	2	148.75	1	176.83	1	9.51	1	13.67	4

(3-32~37 平成29年度版県勢要覧)

統計情報 県勢要覧

平成29年度版県勢要覧

[県統計センター]

公表日：2018.3 公表周期：毎年

本県の土地、人口、経済、社会、文化などの各分野にわたる統計を収録したものです。

注釈

3-32~37

1) 2017年3月31日現在の値。

2) 神奈川県の総計には、駐留軍、不明、その他を含むため、市町村計とは一致しない。

3) 算出には「神奈川県人口統計調査」(2017年4月1日現在)の人口を用いた。

給水人口普及率

4市町村で100%

3-38

指標 2016年度の神奈川県のごみ年間排出量は291万3221tです。1人1日当たり換算したごみ排出量は872gとなります。

水道には上水道、簡易水道、専用水道の3種類があり、現在給水人口はその合計です。県内市町村で横浜市、相模原市、海老名市、箱根町の4市町村が給水人口普及率100%です。表中の数字は端数を四捨五入しているため、表記上100%でも数字に差が出ています。

この統計は [平成29年度版県勢要覧] 県生活衛生課、企業局経営課調

用語 上水道、簡易水道、専用水道

- ・上水道：一般の需要に応じて、水道により水を供給する事業で、計画給水人口5001人以上のもの。
- ・簡易水道：一般の需要に応じて、水道により水を供給する事業で、計画給水人口101人以上5000人以下のもの。
- ・専用水道：水道法第3条第6項に定められた社宅、療養所等における101人以上の居住者に水を供給するもの、又は1日最大給水量が20m³を超えるもの。

公共下水道人口普及率

1位 逗子市

3-39

指標 2017年3月31日現在、神奈川県のごみ年間排出量は291万3221tです。1人1日当たり換算したごみ排出量は872gとなります。

県内市町村で公共下水道人口普及率が最も高いのは逗子市で100%です。

この統計は [平成29年度版県勢要覧] 県下水道課調



ごみ年間総排出量

1位 横浜市

3-40
3-41

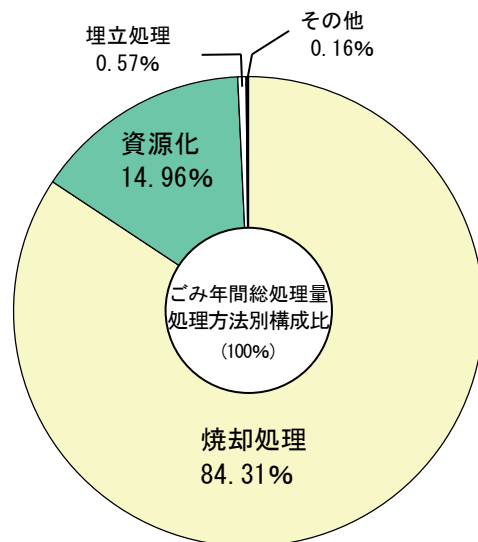
指標 2016年度の神奈川県のごみ年間排出量は291万3221tです。1人1日当たり換算したごみ排出量は872gとなります。

県内市町村でごみ年間総排出量が最も多いのは横浜市で116万6742tです。県内のごみ総排出量の約40%を占めています。

一方、1人1日当たりごみ排出量が最も多いのは箱根町で4032g、最も少ないのは座間市で720gです。

この統計は [平成29年度版県勢要覧] 県資源循環推進課調

神奈川県ごみ年間総処理量の内訳 (2016年度)



統計情報 県勢要覧

平成29年度版県勢要覧
[県統計センター]
公表日：2018.3 公表周期：毎年
本県の土地、人口、経済、社会、文化などの各分野にわたる統計を収録したものです。



市町村・地域名	給水人口普及率		公共下水道人口普及率		ごみ年間総排出量		ごみ排出量 (1人1日当たり)	
	2016年度 値	3-38 順位	2017年 値	3-39 順位	2016年度 値	3-40 順位	2016年度 値	3-41 順位
神奈川県	99.87		96.61		2,913,221		872	
横浜市	100.00	1	99.92	2	1,166,742	1	857	22
川崎市	100.00	5	99.46	3	461,616	2	849	23
相模原市	100.00	1	96.45	9	231,044	3	877	19
横須賀市	100.00	6	97.75	5	134,880	5	915	14
平塚市	99.90	22	97.44	7	84,539	6	897	17
鎌倉市	99.96	13	97.38	8	65,408	11	1,040	4
藤沢市	99.94	17	95.46	12	138,275	4	888	18
小田原市	96.93	32	82.63	23	70,716	9	1,002	5
茅ヶ崎市	99.97	12	95.58	11	71,019	8	811	30
逗子市	100.00	7	100.00	1	18,742	17	848	24
三浦市	99.99	8	33.93	32	15,849	19	972	8
秦野市	99.91	20	87.23	20	50,981	12	838	27
厚木市	99.67	26	89.33	18	75,989	7	923	13
大和市	99.99	9	95.17	13	69,348	10	812	29
伊勢原市	99.39	28	77.96	25	31,964	15	860	21
海老名市	100.00	1	95.72	10	39,338	13	825	28
座間市	99.93	18	98.01	4	33,857	14	720	33
南足柄市	99.78	25	71.37	29	14,140	20	904	16
綾瀬市	99.96	14	94.27	14	23,705	16	769	32
葉山町	99.97	11	63.39	30	11,412	24	974	7
寒川町	99.94	16	92.97	16	13,937	21	794	31
大磯町	99.97	10	75.27	27	11,015	25	959	9
二宮町	99.92	19	86.47	21	8,686	26	843	26
中井町	99.95	15	76.40	26	3,351	31	958	10
大井町	99.91	21	88.94	19	5,843	27	945	11
松田町	99.90	23	83.06	22	3,761	29	932	12
山北町	99.05	29	81.12	24	3,731	30	977	6
開成町	99.89	24	74.86	28	5,479	28	867	20
箱根町	100.00	1	59.02	31	17,140	18	4,032	1
真鶴町	98.89	30	17.52	33	3,326	32	1,271	3
湯河原町	99.44	27	93.38	15	13,091	23	1,455	2
愛川町	93.15	33	91.04	17	13,316	22	908	15
清川村	97.50	31	97.54	6	981	33	843	25
横浜地域	100.00	1	99.92	1	1,166,742	1		
川崎地域	100.00	2	99.46	2	461,616	3		
横須賀三浦地域	99.99	3	92.31	5	246,291	5		
県央地域	99.76	5	95.05	3	487,578	2		
湘南地域	99.89	4	92.69	4	410,416	4		
県西地域	98.15	6	79.53	6	140,578	6		

(3-38~41 平成29年度版県勢要覧)

注釈

3-38

- 1) 給水人口普及率=現在給水人口/行政区内人口
- 2) 行政区内人口は「平成27年国勢調査確定数を基準人口とした推計人口」である。

3-39

- 1) 2017年3月31日現在の値。
- 2) 公共下水道人口普及率=処理区域人口/行政人口
- 3) 行政人口は2017年3月31日現在の住民基本台帳人口。
- 4) 処理区域人口は2017年4月1日公示分を含む供用開始済区域人口。

3-41

- 1) 1人1日当たりごみ排出量
=年間総排出量/計画収集人口/365

県民生活編からのクイズ

かながわ Q&A



- Q 1 県内地域で公共図書館の蔵書数が最も多いのは横浜地域ですが、2番目に多いのはどこ？（2017年3月31日現在）
- ① 川崎地域
 - ② 県央地域
 - ③ 湘南地域
- Q 2 県内市町村で管理職の女性比率が最も高いのはどこ？（2017年）
- ① 鎌倉市
 - ② 藤沢市
 - ③ 茅ヶ崎市
- Q 3 2017年中に神奈川県を訪れた観光客の延人数はおよそ何人？
- ① 1億人
 - ② 2億人
 - ③ 3億人
- Q 4 次の観光地の中で、2017年の観光客数が最も多かったのはどこ？
- ① 鶴岡八幡宮
 - ② 小田原城址公園
 - ③ 横浜赤レンガ倉庫1号館
- Q 5 県内市町村で持ち家比率が最も高いのはどこ？（2013年10月1日現在）
- ① 葉山町
 - ② 大磯町
 - ③ 真鶴町
- Q 6 県内市町村で人口1000人当たりの理容・美容所数が最も多いのはどこ？（2014年7月1日現在）
- ① 南足柄市
 - ② 中井町
 - ③ 湯河原町
- Q 7 県内地域で1人当たりの都市公園面積が最も大きいのはどこ？（2016年3月31日現在）
- ① 横須賀三浦地域
 - ② 湘南地域
 - ③ 県央地域
- Q 8 県内市町村で人口1000人当たりの登録自動車数が最も多いのはどこ？（2017年3月31日現在）
- ① 相模原市
 - ② 愛川町
 - ③ 清川村
- Q 9 県内市町村で、1人1日当たりのごみ排出量が最も少ないのはどこ？（2016年度）
- ① 座間市
 - ② 秦野市
 - ③ 小田原市



答えは80ページ